

加古隆 クアルテット 映画音楽 セレクション

「目にも耳にも美しいステージ」とヨーロッパで絶賛された加古隆クアルテットによる「ベスト・コンサート」。数々の映画祭で音楽賞を受賞した加古隆の映画音楽の名曲を一同にまとめ、また特別に、2018年夏公開予定の映画「散り椿」(木村大作監督、岡田准一主演)のテーマ曲を、公開に先立って初演致します。更に、NHKスペシャル「映像の世紀」のテーマ曲「パリは燃えているか」など代表曲の数々を網羅した、最高のプログラムをお楽しみ下さい。



「加古隆クアルテット」について

加古隆は、パリ在住の頃に活躍したジャズピアノトリオ“TOK”以来、20数年もの間、自分自身の特定のグループを持ちませんでした。その間、独自のピアノ・ソロの世界を確立し、また一方ではオーケストラをはじめ様々な形でのアンサンブル経験を積み重ね、音楽スタイルも大きく変化していきます。

そして2000年代に入った頃から、自分にふさわしい一つのグループを結成し、もう一度自分の音楽を見つめ直してみたいという、漠然とした考えを持つようになりました。こうしてあたためてきた長年の構想が結実し、2010年に結成されたのがピアノ(加古隆)、ヴァイオリン(相川麻里子)、ヴィオラ(南かおり)、チェロ(植木昭雄)の4人からなる「加古隆クアルテット」です。

—— 最少の人数でありながら最大限の音楽表現を可能とし、4人の奏者がそれぞれの楽器の個性を生かしたソリストとしての役割を果たしつつ、同時にアンサンブルとして最高度の一体感を成就する ——

独自の発想により考え出されたステージ上の4人の配置は、古典的な楽器編成に、新しい響きと可能性をもたらしました。最新CDも近々発売予定。

(2017年10月現在)



加古隆 (作曲家・ピアニスト)

東京藝術大学・大学院作曲科卒。パリ国立高等音楽院で現代音楽の巨匠オリヴィエ・メシアンに師事していた1973年に、パリでフリージャズ・ピアニストとしてデビューするというユニークな経歴を持つ。代表作にNHKスペシャル「映像の世紀」のテーマ曲「パリは燃えているか」などがあり、ピアニストとしての音色の美しさから「ピアノの詩人」とも評される。

加古隆 concert 2018『クアルテット・ベスト』ツアースケジュール

- | | | | |
|------------|-------|-----------------------|-------------------------------|
| 2月11日(日) | 14:30 | 大阪:いずみホール | ☎ キョードーインフォメーション 0570-200-888 |
| 2月12日(月・祝) | 14:00 | 名古屋:三井住友海上しらかわホール | ☎ 中京テレビ事業 052-588-4477 |
| 2月18日(日) | 13:30 | 函館市芸術ホール | ☎ はこだて音楽鑑賞協会 0138-32-1773 |
| 3月1日(木) | 19:00 | 札幌コンサートホール Kitara小ホール | ☎ オフィス・ワン 011-612-8696 |
| 3月4日(日) | 14:00 | 東京:サントリーホール | ☎ キョードー東京 0570-550-799 |

加古隆クアルテット
NOW ON SALE



QUARTET

それぞれの海/「最後の忠臣蔵」～夢なれど～
黄昏のワルツ/夏の日の挽歌/パリは燃えているか/「博士の愛した数式」～愛のテーマ～/いのちのかけら/明日への遺言/熊野古道/Flora
AVCL-25497 定価:¥3,000(本体価格+税)
●SACDハイブリッド



QUARTET II

鎮魂歌/太平洋の奇跡/ボエジー/テンペスト/キルトの家/永訣の朝/風のワルツ/花と虫の戯れ/睡蓮のアトリエ/われ一人/ザ・サード・ワールド/霧につつまれた街
AVCL-25776 定価:¥3,000(本体価格+税)
●SACDハイブリッド